

(一財)札幌市環境事業公社 情報誌 第15号

アンパス

un pas

フランス語で「一歩」の造語。一歩一歩お客様との絆を深め、
ともに環境への理解を深めるという意味を込めました。



鷺尾 静雄 作

「アンパス」第15号をお届けいたします。

今号は、札幌市環境事業公社が取り組んでいる普及啓発活動と、「ごみ収集マイスター」認定制度等のご紹介となっております。

本誌に対する皆様のご意見等がございましたら、ぜひお寄せください。

札幌市環境事業公社では、リサイクルの大切さについて、広く市民や顧客に対する普及・啓発に努めています。今回は、公社で取り組んでいる普及啓発活動の一部を紹介します。

『走る掲示版』 収集車への啓発ポスター掲載

会社では、普及啓発活動のひとつとして、札幌市教育委員会の御協力をいただき、札幌市内の小学4年生の児童に「びん・缶・ペットボトルのリサイクル」をテーマとした啓発ポスターを描いてもらい、最も優秀な作品を公社のごみ収集車にラッピングし、「走る掲示版」として啓発する活動を開始しました。



啓発ポスター（太平小学校（北区） 4年1組児童作品）

初年度は、札幌市立太平小学校（北区）と札幌市立常盤小学校（南区）にご協力をいただき、両校から応募のあった116作品の内、学校毎に選考された最優秀賞2作品について、主に北区と南区方面の収集に携わる2台のごみ収集車に、「走る掲示版」のラッピングを行いました。



啓発ポスター（常盤小学校（南区） 4年2組児童作品）

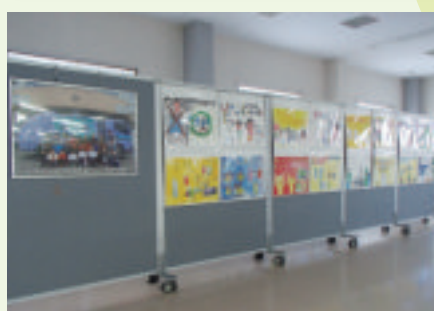
啓発ポスターには、「びん・缶・ペットボトルのリサイクル」に関わる標語と絵が描かれていますので、掲示されたごみ収集車がお近くを走行していたら、ぜひ、ご覧になってみてください。なお、ごみのリサイクルを推進するために、次年度以降も引き続き、この普及啓発活動を実施していく予定となっております。



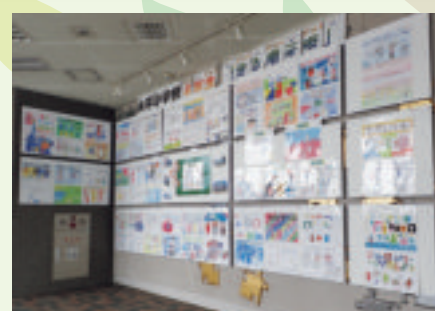
常盤小学校 4年生の皆さん



太平小学校 4年生の皆さん



常盤小学校 応募作品展示風景
（駒岡資源選別センター）



太平小学校 応募作品展示風景
（中沼資源選別センター）

また、今回応募していただいた全作品の内、太平小学校の作品を中沼資源選別センターに、常盤小学校の作品を駒岡資源選別センターに、平成29年3月まで展示させていただきます。

環境広場さっぽろ

環境イベントでの情報発信

「環境広場さっぽろ」は、環境技術・製品及びサービス等の普及や札幌市民の環境意識の向上を目的とする道内最大級の総合環境イベントです。

本イベントは平成10年から毎年8月に開催されており、公社もリサイクル等の普及啓発活動として、第1回目から毎年ブースを出展しています。



「環境広場さっぽろ」 公社ブース風景

平成28年の「環境広場さっぽろ」では、145の企業・団体が出展し、期間中約3万人の来場者がありました。

今年度は、公社が行っている事業の中で、「びん・缶・ペットボトルのリサイクル」の大切さを伝えるため、出展ブースを拡大して、「びん・缶・ペットボトル」の選別とリサイクルを説明する電子紙芝居の上映や、「びん・缶・ペットボトルのリサイクル」に必要なおねがいに関する〇×クイズなどを行いました。



電子紙芝居の上映

また、電子紙芝居をご覧になった方と〇×クイズに挑戦していただいた方には、走るバッカー車（ごみ収集車）のキーホルダー等の普及啓発グッズの配布も行い、多くの来場者から好評をいただいています。

本イベント開催期間が学校の夏休み期間中であることから子供連れの来場者が多く、公社ブースにも多くの子供たちが来ていただき、とても盛況でした。

また、子供たちは「びん・缶・ペットボトルのリサイクル」について、よく学習されているようで、中には保護者の皆様が子供に教えられながら〇×クイズに挑戦している微笑ましい光景も見受けられました。



「びん・缶・ペットボトルのリサイクル」〇×クイズ

なお、「環境広場さっぽろ」は平成29年も開催される予定となっており、公社も引き続きリサイクル等の普及啓発活動を推進するために出展を行う予定です。



走るバッカー車 キーホルダー



「環境広場さっぽろ」 公社ブース

「ごみ収集マイスター認定」によるお客様サービスの向上

会社では、平成28年10月1日より、社内検定による「ごみ収集マイスター」認定制度を創設しました。

これは、廃棄物に関する知識・収集技能を有する収集作業員を、適正なごみ計量と安全な作業を行うことができる「ごみ収集のプロ」として認定することで、安全で確実なごみ収集作業サービスをお客様に提供することを目的とした制度です。

一般廃棄物の適正な収集と処理を行うために、「ごみ収集マイスター」が有しているごみについての知識・収集技能を有効的に活用し、お客様への安全で確実な作業とサービスのご提供、そして収集作業員全員のスキル



作業服のエンブレムが目印です

向上と人材育成に努めてまいります。

このたび、11名の収集作業員をごみ収集マイスターとして認定しました。

会社の粗大ごみやご家庭の引越しごみ等の収集

会社から出る廃木材や下駄箱など木製品の粗大ごみやご家庭から出る引越しごみなどの一時多量ごみ（1回の排出量が0.4㎡（400リットル）以上）については、ごみの形状・重さ等に応じて、プレスパッカー車、クラム付ダンプ車、平ボティ車などで収集し、札幌市内の清掃工場に併設する破砕工場に搬入して、破砕・焼却処理されています。現在は、月曜日から土曜日（年始を除く）までの毎日、札幌市内を2台の専用車で収集にお伺いしており、皆様のニーズに柔軟に対応できる機動力のある収集体制になっております。



引越しごみをプレスパッカー車で収集する風景

なお、引越しなどによる家庭系一時多量ごみの建物内からの運び出し作業（有料）も行っておりますので、お気軽にご相談ください。

詳しくは会社のホームページでご確認ください。



家庭系一時多量ごみを排出している風景

※ごみは収集車が横付けできる場所に原則排出していただきます。

《札幌市清掃工場内破砕工場受入基準》

- ・最大の辺、又は径が0.5m以上2m以下、かつ重さが100kg以下のもの
- ・廃木材は、最大の長さが2m以下、径が0.2m以下、かつ重さが100kg以下のもの
- ・体積が2㎡以下のもの

平成29年3月発行

編集・発行／一般財団法人札幌市環境事業公社
札幌市中央区北1条東1丁目 サン経成ビル

<http://www.kankyou-sapporo.jp>

●本誌に関するご意見、ご要望等

電話 219-2053 FAX 219-0882

●事業系一般廃棄物の収集全般に関すること

電話 219-5353 FAX 219-0053



この情報誌は再生紙を使用しています。